

二ヶ月って大きいね

「えっ、あれはだれ？……〇〇君だ。彼ってあんなに大きかったっけ？」

今日一日で、このように思ったことが度々ありました。四月七日以来の久しぶりの登校で、成長した生徒の姿を目の当たりにしました。やはり、成長期なんですね。姿が近づくにつれて、その大きさが実感できました。

また、初々しい一年生が自分だけで登校する初日もありました。少し大きめのジャージに、真新しいランドセルを背負ってやってくる一年生に対して、二、三年生には貫禄というか余裕というか……先輩オーラがあふれ出ていたように感じました。

中学時代三年間の内の二ヶ月は大きいですね。長いと言われる夏休みだって約四十日。それ以上の長い休業でした。生徒たちと合わない日がこんなに長く続くのは、いまだかつてないことです。おまけに、行動自粛やステイホームが当たり前。その分、会えた感動と成長した驚きは大きいものでした。

同時に、この二ヶ月の時間の尊さを実感しました。昨年度までは、毎日毎日学校にやってきて、勉強や運動、おしゃべりや遊びを繰り返しているだけの毎日のような気がしていました。そんな毎日を通して、中学生は頭も身体も、そして心も大きくなっています。学校教育がストップしていた二ヶ月を、これからできる限り取り戻していきたいと考えています。

本日は初日ということで、生徒たちの登下校の様子を確かめるために、水野市長、山田教育長、南波事務局長が来校されました。教室の中の生徒の姿も確かめてくださり、その後安心して公務にもどられました。

(五月二十五日分)



水野市長をみつけてね。